

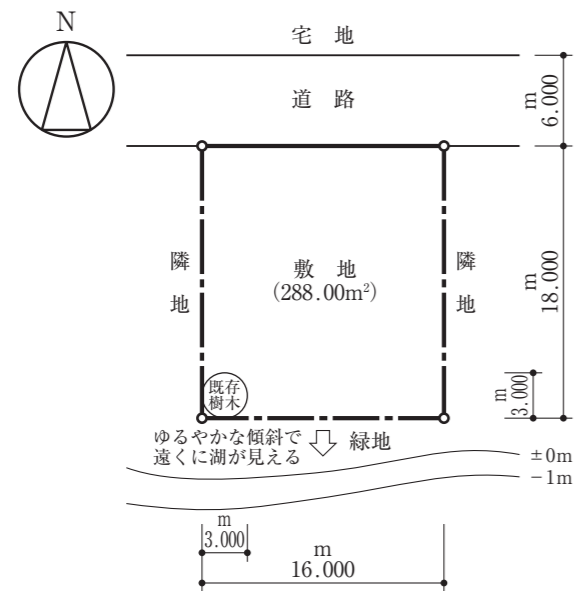
設計課題 「景勝地に建つ土間スペースのある週末住宅(木造2階建て)」

1. 設計条件

- ある地方都市郊外の景勝地において、夫婦の趣味(家庭菜園)を楽しむため、かつ地元住民との交流を深めることを目的とした、土間スペースのある週末住宅を計画する。
- 計画に当たっては、次の①～⑤に特に留意する。
- ①土間スペースは、玄関を兼ねるものとし、家族と地元住民が集う場として、また菜園で採れたハーブや野菜等を使った食事会等を楽しむため、まとまったスペースとする。
- ②1階部分の各要居室(土間スペース及び浴室を除く)の床高は、地盤面から500mm以上とする。
- ③土間スペースからは、敷地内の既存樹木が眺められるようにするとともに、1階・2階の主要な居室は、南側の眺望に配慮した計画とする。
- ④菜園は、デッキテラスに近接して設ける。
- ⑤建築物の耐震性を確保する。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 用途地域その他の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形について敷地の南側の緑地は南下がりに傾斜しているが、当該敷地は平坦で、道路、東西隣地との高低差はない。また、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。



(注) 既存樹木(枝張り3.0m)は、既存の位置に保存するものとし、この部分には建築物は計画してはならない。

図-1 敷地図(縮尺:1/500)

(2) 構造、階数及び建築物の高さ

- ア. 木造2階建とする。
- イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。

(3) 延べ面積

- 必ず「140㎡以上、180㎡以下」とする。
- (床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、デッキテラス、駐車スペース等は算入しないものとする。)

(4) 家族構成

夫婦(40歳代)、子ども2人(女子小学生)

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

設置階	室名	特記事項	床面積
1階	土間スペース	ア. 玄関を兼ね、まとまったスペース(少なくとも直径3.0mの円が1つ入るスペース)とする。 イ. 下足入れを設ける。 ウ. 地域住民や家族が集い、菜園で採れたハーブや野菜等を使って食事会を開いたり、菜園作業の休憩・用具保管等に利用する。 エ. 和室と隣接させ、直接行き来できるようにする。 オ. 天井高は、3.0m以上とする。 カ. テーブル(いす6席)を1卓設ける。 キ. ミニキッチン(600mm×900mm)を設ける。	19㎡以上
	土間用倉庫	ア. 菜園で使う用具等を保管する。 イ. 土間スペースから利用できるようにする。	3㎡以上
	居間・食事室・台所	ア. 2階への階段を設ける。 イ. 1室にまとめる。 ウ. 台所部分は広めの計画(9㎡以上)とし、家事コーナーを設ける。 エ. PCコーナーを設ける。	33㎡以上(階段部分を含む)
	和室	ア. 押入れを設ける。 イ. 来客の宿泊用としても利用する。 ウ. 土間スペースと直接行き来できるようにする。	8畳(押入れを除く)
	洗面脱衣室(1)	ア. 来客用としても利用する。 イ. 広さは、心々1,820mm×2,275mm以上とする。	4㎡以上
	浴室(1)	ア. 来客用としても利用する。 イ. 広さは、心々1,820mm×2,275mm以上とする。	4㎡以上
	便所(1)	・広さは、心々1,820mm×1,820mm以上とする。	適宜
2階	夫婦寝室	・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクローゼット(3㎡以上)を設ける。	16㎡以上(ウォークインクローゼットを除く)
	子ども室	ア. 子ども2人が使用する。 イ. 洋室とし、ベッド(計2台)、収納を設ける。	9㎡以上(収納を除く)
	洗面脱衣室(2)		適宜
	浴室(2)		
適宜	納戸		3㎡以上

(注) 1階廊下の有効幅員は、1,365mm以上とする。

(6) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

デッキテラス	ア. 15㎡以上のまとまったスペース(少なくとも、直径1.5m以上の円が1つ入るスペース)とし、バーベキューなどにも使用する。 イ. 景観の良い位置に配置し、居間・食事室・台所及び土間スペースからも、直接行き来できるようにする。 ウ. 安全に配慮し、手すりを設ける。
菜園	ア. 20㎡以上とし、まとまったスペース(少なくとも、直径2.5m以上の円が1つ入るスペース)とする。 イ. 菜園に近接して洗い場を設ける。
駐車スペース	・1台分の駐車スペースを設ける。

2. 要求図書

- ア. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
- イ. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- ウ. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(部分詳細図(断面)にあつては、10mm)である。
- エ. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

要求図書()内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図(1/100)	ア. 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法 ・室名等 ・「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」には△印を付ける。 (注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう(以下同じ)。 ・断面図の切断位置及び方向
(2) 2階平面図(1/100)	イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、門、塀、植栽等 ・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 ・デッキテラスには、直径1.5m以上の円(破線にて明記する。)、手すり ・菜園には、菜園の範囲及び直径2.5m以上の円(それぞれ破線にて明記する。)、洗い場 ・部分詳細図(断面)の切断位置及び方向 ・土間スペース、デッキテラス及び居間・食事室・台所の床の地盤面からの高さ ・土間スペース…直径3.0m以上の円(破線にて明記する。)、テーブル、椅子、ミニキッチン、玄関部分には下足入れ ・居間・食事室・台所…テーブル、椅子、PCコーナーの机、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等)、家事コーナーの作業台 ・便所(1)…洋式便器、手洗い器 ・洗面脱衣室(1)…洗面台、洗濯機 ・浴室…浴槽(1)
(3) 2階床伏図兼1階小屋伏図(1/100)	ア. 主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋束など必要なもの)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ. 2階床伏図において、火打梁の代わりに、構造用材による床組とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、釘の種類・打付け間隔を明記する。 ウ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 エ. 建築物の主要な寸法を記入する。
(4) 立面図(1/100)	ア. 南側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。 ウ. デッキテラスについては、外観で見える場合に記入する。
(5) 断面図(1/100)	ア. 切断位置は、1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のもとし、構造部材(梁、基礎等)、見え掛かりの開口部、階段等(室の対向に見えるもの)については、記入しなくてよい。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。
(6) 部分詳細図(断面)(1/20)	ア. 切断位置は、居間・食事室・台所の外壁を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 主要部の寸法等を記入する。 エ. 主要部材(基礎、土台、大引、1階根太など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 オ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。 カ. アンカーボルト等の名称・寸法を記入する。 キ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。 ク. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。
(7) 面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(8) 仕上表	ア. 主要な屋根の勾配を記入する。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 ウ. 内部(土間スペース)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。
(9) 計画の要点等	・建築物及び敷地の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。 ①土間スペースの計画について、工夫した点 ②景観を考慮して、平面計画において工夫した点 ③菜園の配置について、工夫した点

下書欄 (目盛4.55mm)

会員番号		氏名		受験地	
------	--	----	--	-----	--